



あしたのイベント報告です (笑) (笑)

鎌仲監督の福島と千刈の取材映像を見てお茶をのめながらシラリングする「カマボコ」を。

3月13日(金) 軽井沢町連発宿のCafe Gallery じんだにて行いました。じんだの店長とレスレ吉川さんがあしたの活動に共感して下さい。美味しい特製カレーランチとお茶をいただきますから、**吉川さん親子**、**若いお母さんの仲間がいます!**、心も本もあたたまり♡ スタッフ入れて19名で意見交換をする事ができました。

上映内容は、「ハイハイ vol.3」

本編「小さな声のカン」ついに完成! 各地で上映が始まっています。

千刈の原爆事故後のバラルーシ

立ち入り禁止区域内(30km)のむすび、ストリチガ地区。政府が除染入植を奨励し子連れの家族が移って来ました。まだ土壌汚染があるため、学校では子どもを守るために、未だに給食の食品検査、授業終わるごとに床を水拭き、授業に放射能について学ぶ、自ら守るための知識をまとめるなど、国や学校の積極的の情報オープンにされた取組について。

仙台市の「小さな花 市民放射能測定室」

専業農家が、仙台にいらから自らの野菜の汚染を発信している活動について。

新潟での取り組み「いのちキラキラ希望の風祭り in 聖神」

福島県内の健康調査に関わった看護士の井上さん、お母さんが聴診器をたずねる触診をしない、放射能のことは一切考慮しない現場のあり方にショックを受け、地元で中間に呼吸器だけ、福島の子どもの健康調査キャンペーンを実現。

バラルーシ、日本の保養体験 女子会

千刈の原爆事故後、咳が出まわらない、疲れやすい、黄ばんだ目際、国際的に放射能の因果関係が認められていない症状が多く子どもたちに見られたが、保養に出ることで改善されたことで、日本の保養に至る女子たちが集まり当時を振り返る。

上映後のシェアリング



上映内容について...

- バラルーシの学校給食、その後の対策をみて、日本が何をしていた事に、驚きと怒りを感じました
- 仙台の農家の方の取組が、自分も農家としての一番印象に残ります。自分の農地が汚染されたら何の巧にもきちんと対策を打っていたか命がけです。
- 子どもたちの健康調査をきちんとできてほしい日本のひびきを改めて痛感。保養プログラムを政府に提案してほしい。
- 保養がとて効果的であることが分かった。お伝えしたい。
- 未来への希望が感じられました。親ばあから終わりにして、今からこころでできることを一所ずつ進むことで子どもたちの未来は拓くことはできるんだよねと。

これからしたいこと...

- 秋の子が生まれる間に原爆に頼らない社会を作りたいです!
- 日本全体が変わるには難しいので、生きている地域から具体的なことを変えていくのを目指しています。
- なるべく放射能の低い食物を食べ、自分注目を付けて考えたい、友達に教えてあげたい。(小学生)
- どちら側にも偏った情報に言わないで注意し、自分で判断できるようにしたい。
- 機会があるごとに言っていくこと。○保養キャンプの活動をお伝えしたい。

☆フグワ 子どもサマ-キャンプサポーター隊
 小さな声の子どもの保養キャンプを継続しています!! 今年も7/31~8/6.
 ☆食事の調理や見守りのボランティアも募集中!
 問合せ先: 杉田 090-8949-3566

映画「小さな声のカン」選択有名人
 長野・松本で6/13(土)~上映開始。
 シネマライツ8 千石劇場
 自主上映会も近々計画中です!